

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ライブハウスコース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用				
授業概要					
Excel・Word・PowerPointといったマイクロソフト系ツールや、GoogleWorkSpaceの各種アプリケーションの入門～基礎操作、活用方法をオンデマンド授業で学ぶ					
到達目標					
授業内でのPC作業や、社会人になってから応用できるPCテクニックを身につける					
授業計画・内容					
【前期】 1～8回目	PCテクニック～Word編～				
【前期】 9～13回目	PCテクニック～Excel編～				
【前期】 14～19回目	PCテクニック～Google編～				
【後期】 20～24回目	PCテクニック～Google編～				
【後期】 25～27回目	PCテクニック～Google スプレッドシート編～				
【後期】 28～33回目	PCテクニック～PowerPoint編～				
【後期】 34～37回目	PCテクニック～Google スライド編～				
【後期】 38回目	PCテクニック～ Web会議ツール編～				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージ音響概論		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ステージ音響概論Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	PA会社を経て数多くのアーティストのPAサポートを行い、デジタル伝送システムの構築を発信している。コンサート以外では、テーマパーク、エキシビションのサウンドデザインを担当している。					
授業概要						
本館ホールを使用した各種実習およびホールを使用して実機を用いて講義を行う。						
到達目標						
PAエンジニアに必要なトータル的な技術の取得。(本館ホール) 現場で実際に必要になる機材の知識やPCスキルの習得						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	アナログとデジタルの違いを理解する 各Editorの基本操作(回線表を打ち込むYAMAHA PM5/M7/TF)					
【前期】 6～10回目	各Editorの基本操作(DIGICO SD7/Q225) ホールについて/楽器表記回線表作成 実験交えてSmart/ラウドネス/dB					
【前期】 11～15回目	電気について 各マイクの特徴/指向性/MS/ファンタム 様々なコネクターの特徴					
【前期】 16～19回目	ミキサーについて(MTRIX/信号の流れ/Insert) イコライザー/コンプレッサー/空間系エフェクター、Delay					
【後期】 20～24回目	電波について ワイヤレスマイク使用法/WWB イヤモニの使用法					
【後期】 25～29回目	ポイントソースとラインアレイ Vector図面作成 DANTE					
【後期】 30～34回目	劇場の種類/舞台機構 音源再生(REAPER)					
【後期】 35～38回目	様々な現場の音源出し 音源再生(サンブラー)					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ステージ音響概論Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	PA会社を経て数多くのアーティストのPAサポートを行い、デジタル伝送システムの構築を発信している。コンサート以外では、テーマパーク、エキシビションのサウンドデザインを担当している。					
授業概要						
12号ホールを使用した各種実習およびホールを使用した実践的な実習を行う。 フルデジタル伝送の知識を深める。						
到達目標						
PAエンジニアに必要なトータル的な技術、機材、デジタルネットワークに対する知識と技術を得得フラッグシップモデルDiGiCo SD7のマスター(12号ホール)						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	12号B2システム説明/Session1 TB SD7の基本(Session1 音が出せる TB GEQをINSERT／Session1 TB SEND Levelコントロール USB／Session2 TB Send/機器のレベル合わせ/Bank)					
【前期】 6～10回目	チューニング(MainとSTAGEの環境作り/USB MADI) Dr3点/Bass/Gtサウンドチェック(Micアレンジ/RECして聞き比べ) 音源再生MIX(マルチ再生の仕方)					
【前期】 11～15回目	Q225をMoni 卓へ(REAMPの使用) 音源再生MIX(REAMPの使用／RECして聞き比べ) 簡単なSmarrt測定/Delay合わせ等(機材のPhase/Delay)					
【前期】 16～19回目	アンサンブルライブ@本館／Smarrt測定応用(アライメント) 前期試験					
【後期】 20～24回目	様々な現場の音源出し(イベント／結婚式) チューニング					
【後期】 25～29回目	企画Liveシミュレーション・準備 SX300フライング					
【後期】 30～34回目	アンサンブルライブ@本館 様々な現場の音源出し(カラオケ/Band)					
【後期】 35～38回目	総括 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージワーク実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ステージワーク実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	都内ライブハウスでのPAオペレーターを経て、現在はフリーランスとして活躍中。 また、様々なアーティストの専属オペレーターとして従事。					
授業概要						
9号館ホールを使用した各種実習およびホールを使用した実践的な実習を行う。 学生が主体で実施するイベントができるようになるための実践を行う。						
到達目標						
音響スタッフとしての役割を理解し、チームとしての行動ができること。使用する機材の基本的なオペレーション能力を身に付ける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	STAGE INPUTを仕込む チューニング:アナログ卓でのレベル感、モニターAMPのレベル感					
【前期】 6～10回目	MONIチューニング FOHチューニング					
【前期】 11～15回目	INSERT:COMP/GATEのつなぎ方等 STAGEマンとしての動き方 企画ライブ本番					
【前期】 16～19回目	楽器:BASSAMP/GTRAMPの繋ぎ サウンドチェック イベントに向けてシュミレーション、本番					
【後期】 20～24回目	音源ミックスTF1 BANDミックス:SPチューニングからのサウンドチェック					
【後期】 25～29回目	BANDミックス:ステージ転換 イベント本番					
【後期】 30～34回目	BANDミックス:GATE/COMPの使い方 STAGE転換					
【後期】 35～38回目	イベント本番 BANDミックス					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージ音響実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	ステージ音響実習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	PA会社を経て数多くのアーティストのPAサポートを行い、デジタル伝送システムの構築を発信している。コンサート以外では、テーマパーク、エキシビションのサウンドデザインを担当している。				
授業概要					
本館ホールを使用しデジタルコンソールでのモニター分岐システムを用いたツアーリングに対応した実技実習					
到達目標					
PAエンジニアに必要なトータル的な技術の取得。(本館ホール)					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	コンソール、PowerAmpの電源の入れ方等 YAMAHA PM5の基本的な使い方				
【前期】 6～10回目	YAMAHA PM5実機を用いて実践				
【前期】 11～15回目	イベントに向けて準備 転換練習等				
【前期】 16～19回目	PM5、M7を分岐モニモニセッアップ 分岐してのFOH,MONIチューニング マイキング・HAレベルの取り方等				
【後期】 20～24回目	イベントに向けて準備				
【後期】 25～29回目	PCを使用して音源MIX				
【後期】 30～34回目	舞台音響 PCCなどを使用 Qlab等の再生				
【後期】 35～38回目	イベント本番				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	半田製作実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	半田製作実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	PA会社にて機材管理・メンテナンス・オペレーターを経て現在は音楽コンサート以外にもスポーツイベントなど様々な現場にて活躍中					
授業概要						
半田付けの技術およびケーブル・コネクターの構造について学ぶ。						
到達目標						
トラブル時の修理などの対応する技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	クラフト フーンコネクタ説明、TS、TS⇔オス&メス、TRS フーン(TS)半田付け、TS、TS⇔オス&メス、TRS					
【前期】 6～10回目	TS⇔オス&メス×2 TS⇔オス&メス、TRS(細)、TRS(4E6S) TRS(細)×1、TRS(4E6S)×3					
【前期】 11～15回目	TRS(4E6S)×3、TS×1、XLR×1 マルチコネクタ説明、XLR×1、TS×1、TRS×1					
【前期】 16～19回目	カラーコード説明、XLR×1、TS×1、TRS×2 スピコン説明					
【後期】 20～24回目	スピコン×3、XLR×3 スピコン×3、XLR×1、TS×1、TRS×1					
【後期】 25～29回目	クラフト ケーブル作成					
【後期】 30～34回目	RCAコネクタ説明 ステレオケーブル作成					
【後期】 35～38回目	クラフト ケーブル作成					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	PA実地演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					
授業計画・内容					
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント				
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋内会場				
3回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋外会場				
4～5回目	ゲスト講師によるPA授業				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					